

ー地域と連携した環境保全活動ー 自然科学部・JRC ボランティア同好会

4月26日(日)、本校自然科学部およびJRC ボランティア同好会の生徒は、「阿見町実穀近隣公園ほたる野会」の皆様や地元企業の方々とともに、実穀近隣公園に生息するホタルの保護を目的とした草刈り・清掃などの自然環境保全活動に参加しました。本活動への参加は今年で5年目となります。

また、自然科学部では、「阿見町実穀近隣公園ほたる野会」のご指導のもと、ヘイケボタルの幼虫を校内で飼育し、生育観察を行っています。お預かりした幼虫は6月中旬に放流を予定しており、この取り組みも今年で3年目を迎えます。

生徒たちは「自然を愛し、水と緑の美しい阿見町にホタルを!」を合言葉に、今後も地域の方々と連携しながら、自然環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

◇ご協力いただいた地元企業の皆様(敬称略)

キャノン株式会社

キャノン化成株式会社

キャノンセミコンダクターエキップメント株式会社

キャノンエコロジーインダストリー株式会社

キャノンモールド株式会社

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



「第 36 回かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン 2026」に本校生徒が全力サポート!!

4月19日、初夏の気配が感じられる陽気の中、土浦市「第 36 回 かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン 2026」が開催されました。

本校からは陸上部と JRC ボランティア同好会の生徒がスタッフとして参加し、「全国から集まるランナーを最高の形でおもてなししたい」という思いを胸に、ボランティア活動に取り組みました。

陸上部は霞ヶ浦湖畔のコース沿いで、ランナーの安全を守るコース整理や、選手に力を与える力強い声援を送り、大会運営を支えました。

また、JRC ボランティア同好会はゴール後の給水コーナーを担当し、走り終えたランナー一人ひとりに「お疲れ様でした」と心を込めて水を手渡すなど、完走後の安らぎのひとときを提供しました。

支える側として活動した生徒たちの表情には、大きな役割をやり遂げた達成感と誇りがあふれていました。本校はこれからも、この伝統ある大会とともに、地域を愛し、地域に貢献する精神を育ててまいります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

